

福知山市議会「議会運営委員会・議会改革検討会議」 行政視察研修報告書

- 1 視察日程 令和5年11月14日（火）～ 15日（水）

- 2 視察先及び調査項目
 - (1) 愛知県江南市
「議会運営全般、議会改革の取り組みについて」
(政治倫理条例、議会公式SNS、中学生との意見交換会など)
 - (2) 東京都町田市
「議会運営全般、議会改革の取り組みについて」
(情報共有の取り組み、業務継続計画、議会公式SNS、高校生との意見交換会など)

- 3 参加委員
議会運営委員会 委員長 吉見純男（議会改革検討会議 副委員長）
議会改革検討会議 委員長 田中法男（議会運営委員会 副委員長）
委員 片山正紀、岩崎崇央、井上雄一、吉見茂久
藤本喜章、高橋正樹、足立治之
副議長 足立伸一

（10人）

- 4 視察経費 総額 563,600円（1人あたり 56,360円）

- 5 調査報告
別紙のとおり

| | |
|---|---|
| 視 察 日 | 令和 5 年 1 1 月 1 4 日 (火) |
| 視 察 先 | 愛知県江南市 人口 98,701人 (令和5年9月末日現在) 市面積 30.2km ² 議員定数 20人 |
| 調査項目 施策・取組等 | 「議会運営全般、議会改革の取り組みについて」 (政治倫理条例、議会公式SNS、中学生との意見交換会など) |
| 視察理由 事前研究等の 概要とそれに 基づく調査項 目・視察先の 選定理由等 | 政治倫理条例の策定を検討しているため 市民に対する情報公開の手法や媒体を考えるため 若年層に対する議会活動へのアプローチが必要であるため (学生による模擬議会などの実施) |
| 調査概要 調査項目の施 策・取組等の 実施状況等 | 政治倫理条例について ・令和3年5月施行の政治倫理条例の制定に至った経緯や目的は何であったのか。 ・作業行程はどうしたのか。 ・制定後の市民の反応や議員の変化はどうであったか。 議会公式SNSについて ・議会公式 Facebook に対する市民の反応はどうか。 ・発信内容の管理方法はどのようにしているのか。 中学生との意見交換会について ・意見交換会を開催するにあたって工夫されたことは何か。 ・主権者教育に対する中学生の意識と行政に望むことは何か。 ・意見交換会で出た意見を市の広報誌が扱ってくれる理由は何か。 |
| 考察・効果 | 政治倫理条例について ・平成19年から「政治倫理要綱」を施行されていたが、令和2年に商工会議所から条例制定に関する要望書が提出され、協議の中で議会が必要と認め、議会改革特別委員会において政治倫理条例が取りまとめられた。 ・江南市議会議員政治倫理審査会の委員がすべて議員である。 ・市民の関心は薄い。(審査請求の事例は無い。) ・大きな意義として議員が自らの行動をチェックするようになった。 議会公式SNSについて ・Facebook の発信作業はすべて事務局が行なっている。 ・連絡事項の伝達に限定して運用している。 ・議会を知ってもらうには議会公式 SNS よりも議員個人の SNS の方が有効である。 中学生との意見交換会について ・参加者の選考は中学校任せとなっている。 (担当議員は地元の中学校には出席しないこととしている。) ・意見交換会で出された意見で一般質問を行う議員もいる。 ・参加した中学生にアンケートを提出してもらっている。 ・議会だよりなどの広報誌は発行していない。 ・福知山市議会でも取り組むべき事業である。 |

| | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> • 政策提言への反映 • 本市での施策実現に向けた比較研究（効果及び課題） | <p>政治倫理条例について</p> <ul style="list-style-type: none"> • 政治倫理条例は議会自らがヤル気を持って早急に取り組むべきである。 • 審査請求のやり方など市民目線であることが重要である。 • 実効性のあるものにするため検証の方法も考えておく必要がある。 <p>議会公式SNSについて</p> <ul style="list-style-type: none"> • Facebook については広報広聴委員会で情報発信の方法を検討中であるため、これから議会運営委員会と議会改革検討会議としても、しっかりと連携していきたい。 <p>中学生との意見交換会について</p> <ul style="list-style-type: none"> • 中学生が提案してくれた意見をいかに政策提言に繋げていけるか構築していく必要がある。 • 意見交換会は予算化も含めて定例化していくべきである。 • 一校単位だけではなく全体で行う方法も考えておかなければならない。 |
|--|--|

| | |
|---------------------------------------|--|
| 視察日 | 令和 5年 11月 15日 (水) |
| 視察先 | 東京都町田市 人口 430,831人 (令和5年1月1日現在) 市面積 71.55km ² 議員定数 36人 |
| 調査項目 施策・取組等 | 「議会運営全般、議会改革の取り組みについて」 (情報共有の取り組み、業務継続計画、議会公式SNS、高校生との意見交換会など) |
| 視察理由 事前研究等の概要とそれに基づく調査項目・視察先の選定理由等 | 議会運営委員会の令和5年度年間活動計画の調査・研究テーマ (1) 新たな情報公開の検討 (2) BCP業務継続計画策定に向けた検討 (3) その他、議会運営に関すること にもとづき、先進事例を委員会で調査検討のうえ、早稲田大学マニフェスト研究所の議会改革度総合ランキング上位にある町田市議会を選定した。 |
| 調査概要 調査項目の施策・取組等の実施状況等 | 議会運営全般 ・議会改革を進めていくにあたっては、議会基本条例を策定せず、できる ところから議会改革に取り組んでいる。 ・議会報告会や意見交換会など外に出ていく改革よりも、議会に来てもら うことを優先している。議会に関心を持ってもらい本会議など傍聴し 易い環境整備に重点を置いている。 ・庁舎の建て替え時に親子傍聴席、車いす対応の傍聴席を設置している。 ・民間バス、タクシーに議会開催告知ポスターの無料掲示を行い、自治会 への傍聴案内チラシ2000部の配布を行っている。 議案のカルテ ・作成のきっかけは会議録の速報版を出そうと決めたことで、事務局が作 成している。公示日に議案の件名、議案の添付後、委員会審査結果を掲 載し、本会議終了日以降に委員会審査の様子と議決結果を項目ごとに 一括でホームページに掲載している。 ・請願審査カルテも議長の発案で令和5年6月議会よりホームページに 掲載している。実務作業は市議会事務局員が行っている。 業務継続計画 (町田市議会BCP) ・町田市は昭和40年代から50年代にかけて幾度となく、市内を流れる 境川大氾濫に見舞われたことを受け、市議会においても防災対策委員 会が組織され、その委員会での議論の結果、「業務継続計画 (町田市議 会BCP)」が策定された。 議会公式ツイッター (X) ・町田市では平成29年3月1日より Twitter を開始。ホームページへ の誘引が目的でありプッシュ型の性質も相性が良く、議会開会時にお ける休憩やその後の予定などをタイムリーに発信している。SNSは双方 向にコミュニケーションが取れることもメリットだが議会事務局から の発信となっているため、一方向のプッシュ型としメッセージへの返 信はしていない。テキストだけの発信だけでなく写真も多く活用する ことによる工夫もしている。 高校生との意見交換会 ・目的、主旨は町田市民意識調査の結果から、10代の市議会に対する関 |

| | |
|--|---|
| | <p>心が低い傾向にあることに加え、選挙権が18歳以上となったことを機に、多くの高校生に在学中から主権者として行政に関心を持ってもらい、地方自治における議員の役割、高校生の感じる身近な疑問から議員の活動など、幅広い観点により意見交換を行うためとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度、第6回ということで、1～2回はワークショップ形式（テーマは当日決定）、3回目からはワールドカフェ形式（テーマは2つを決定）で行なっている。課題は高校側との協力体制の継続とあった。何度も学校を訪問しながら、実施計画をもって入念に準備をされている。 |
| <p>考察・効果</p> | <p>議会運営全般</p> <ul style="list-style-type: none"> 議会に関心を持ってもらい本会議など傍聴し易い環境整備に重点を置いている。 <p>議案のカルテ</p> <ul style="list-style-type: none"> 町田市議会の「議案のカルテ」については、議案ごとに審議状況、議決結果を議決後2週間以内に議会ホームページで公開しておきたいへんに解りやすく、市民が議会に関心を持つための大切なツールになっている。 議会事務局が制作事務を行っており、議員がしなければあまり意味がないと思うが大変な作業である。 課題としては議案のカルテの市民周知が今以上に必要だとの説明を受けた。 <p>業務継続計画（町田市議会BCP）</p> <ul style="list-style-type: none"> 発災後、議員の安否確認、市民の安全確保と災害復旧に向け、迅速かつ適切な災害対策活動ができるよう、非常時優先業務を行うため議会の体制整備を目的として策定されている。個々の議員が市への要望等を行うことをやめ、災害対策委員会や委員を通じて執行部に正式な陳情や確認を行うことで混乱が生じにくいとしていることについては効果がある。 <p>議会公式ツイッター（X）</p> <ul style="list-style-type: none"> 町田市議会の議会公式ツイッター（X）は、「プッシュ型」のツールとして、有効的なSNSと考察する。返信はせず情報発信のみではあるが、タイムリーであり議会への関心がより一層高まるものと考える。 <p>高校生との意見交換会</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校単位での申し込みであり、生徒会役員が多いのでしっかりとした意見を持って臨んできている。議員に対する親密度も増加している。また、高校生との意見交換会の様子を外部配信していることで、多くの市民が興味を持って頂けると考察する。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 政策提言への反映 本市での施策実現に向けた比較研究（効果及び課題） | <p>議会運営全般</p> <ul style="list-style-type: none"> 議会開催予定、傍聴、高校生との意見交換会などの参加啓発チラシを自治会配布にすることで多くの市民に議会に興味、関心を持って頂く取り組みが確認できた。効果が期待出来ると思うが、費用面、自治会業務の負担の検討は必要である。 親子・車いす対応の傍聴席設置は、改修して増設は可能であるが、費用面の課題がある。議会棟の建て替え時には、通常、設置することになると考える。 <p>議案のカルテ</p> <ul style="list-style-type: none"> 町田市議会事務局は18名で構成されている。人口規模の違いはあるが、実務量が倍加するわけではないと考えるので、福知山市議会を導入 |

する場合は、議会ホームページのシステム調査と議員、事務局の作業量について調査検討が必要である

業務継続計画

- ・福知山市議会で、業務継続計画の策定をするにあたっては、すでに策定している「災害発生時の議会対応要領」「オンライン会議要綱」「福知山市防災計画」との整合性を調査研究する中で簡素で分かりやすい業務継続計画とする必要がある。

議会公式ツイッター（X）

- ・広報公聴委員会で調査研究を進められているので実施に向け、連携した取り組みが必要である。
- ・「プッシュ型」のツールは、最も有効的なSNSと感じたことから、今後の福知山市議会におけるSNSの導入検討に非常に参考になる事例である。返信はせず情報発信のみではあるが、タイムリーであり議会への関心がより一層高まるものとする。
- ・双方向の取り組みについては、公式な答えとして一つ一つ整理していく作業は非常に労力と負担が大きいと考える。効果面でなお調査研究が必要である。

高校生と町田市議会議員の意見交換会の実施

- ・個人参加の方式で、教育委員会は通していないが保護者の承諾はとっているということであったので、本市議会では実施する場合には参考にする必要がある。継続した形で実施できるかが課題である。